



59 モルック

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

2つ以上のチームでモルックを投げてスキットルを倒し、先に50点ぴったりに得点したチームが勝利するというゲームです。

1 ねらい

身体能力や体力に関係なく、多世代のコミュニケーション促進と、親睦を深めさせます。
(小学校 体育 中学校 保健体育)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 屋外（芝生）60人・プレーホール60人・大ホール20人
(1セット最大6名×3チーム)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1時間（人数により変わります）

3 職員の支援について

- ・物品貸出し時にルールや安全についての説明を行うことができます。
(依頼があれば活動支援に入ることができます。)

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・筆記用具	
個人	・運動ができる服装・ズック（屋外用、屋内用）	
自然の家	・用具一式 (モルックセット、マット、ブルーシート、得点板)	・スタンダード3セット ・ミニ1セット ・室内用1セット

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備
- ② ルールの説明と諸注意
- ③ 活動
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・競技時間の設定はありません。
- ・1チーム2名～6名、2チーム以上で行います。
- ・ほぼ平坦な所ならどこでもでき、プレーヤーに合わせて距離を設定することができます。ただし、コンクリート上では、木製のモルックセット破損の恐れがあるためご遠慮いただきます。

《資料》

50 点を超えると、減点・・・！

50 点ピッタリにならないといけません。
50 点を超えた場合は、25 点へ減点されます。
ゲームは継続されます。

投げ方は下投げ

モルックでは下投げがルールです。
上からや、横から投げてはいけません。
下投げであれば、あとは自由に投げて OK です。

スキttlは倒れた地点で立てる

自分のターンで倒すことができたスキttlは、
相手ターンになると、その倒れた位置で立てられます。
ゲームが進むにつれてスキttlが広がり、倒すのが難しくなってきます。

3 回ミスで 0 点！

3 回連続スキttlを倒せなかった場合 0 点と記録され、失格となります。

完全に倒れていない場合

スキttlが完全に倒れていない(重なって地面についでいない)場合はカウントしません。

スキttl

モルックを投げてこれを倒す



モルック

投げる棒のことをモルックという。
下手投げを行うのが基本。

インターネット 「カモメトリップ」より転載

MOLKKY の基本ルール

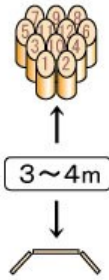
準備

モルックを投げてスキttlを倒し
得点を競います
2チーム以上で順番に投げて勝負
1ターンに投げれるのは1チーム1投

モルック



このモルックを投げて
スキttlを倒します
投げ方は下手投げ



スキttlの配置



プレイ

1本倒した場合

倒したスキttlの
番号が得点

10点



複数本倒した場合

倒した本数が得点

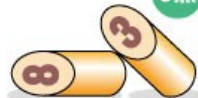
2点



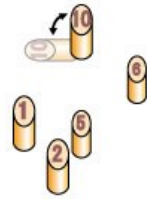
重なった場合

完全に倒れた
スキttlだけ得点

8点



毎回倒れた場所で
立て直す



ゲーム終了

50=Winner

勝ち

得点を加算していき
一番早く50点ピッタリに
したチームが勝ち

Return to 25

戻る

50点超えてしまったら
25点からやりなおし

3Miss=NG

失格

チームが3回連続
スキttlを1本も
倒せないと失格

※スコア用紙は別紙をコピーしてお使いください。